

地域音楽コーディネーター養成講座【オンライン3月】

③地域文化マネジメント

地域連携と音楽活動

共創の音楽で子どもたちに 生きる力を、地域に活力を

一般社団法人エル・システマジャパン

代表理事 菊川 穰

エル・システマとは



- 家庭の経済状況に関わりなく誰でも参加可能
- 様々な教育メソッド(スズキ、ダルクローズ、コダーイ等)を融合
- 合奏優先、スパイラルカリキュラム
- クラシックだけでなく、ジャズ、ロック、フォークも
- 世界的な音楽家を輩出
- 特別支援、刑務所、新生児、病院プログラム
- 世界70以上の国・地域に展開

世界各地での展開

- フランチャイズではなく、inspired プログラムとして、それぞれが独自の背景と制度を持つ
- 様々な社会問題(難民/移民、地域格差、貧困、女性、自然災害、自殺、孤独等)に対応した内容
- 国家主導型から純粋な民間活動まで様々な形態



被災地で始まった日本での取組

- 相馬 (2012～:オーケストラ(弦・管)、コーラス、学校授業支援、作曲教室)
- 大槌 (2014～:オーケストラ(弦)、吹奏楽)
- 駒ヶ根2017～:(オーケストラ(弦))
- 東京(2017～:ホワイトハンドコーラス)



こだわったこと



- 共創の喜び、芸術の高みを目指す
 - 当事者・地域のリアリティを反映
 - 子どもの権利と尊厳を守ることを最優先
 - 学校・行政と共同の持続可能な仕組み
- ＞事業として予算化する

- 5周年動画

<https://youtu.be/g6cgMwzujlo>



大切にしていること

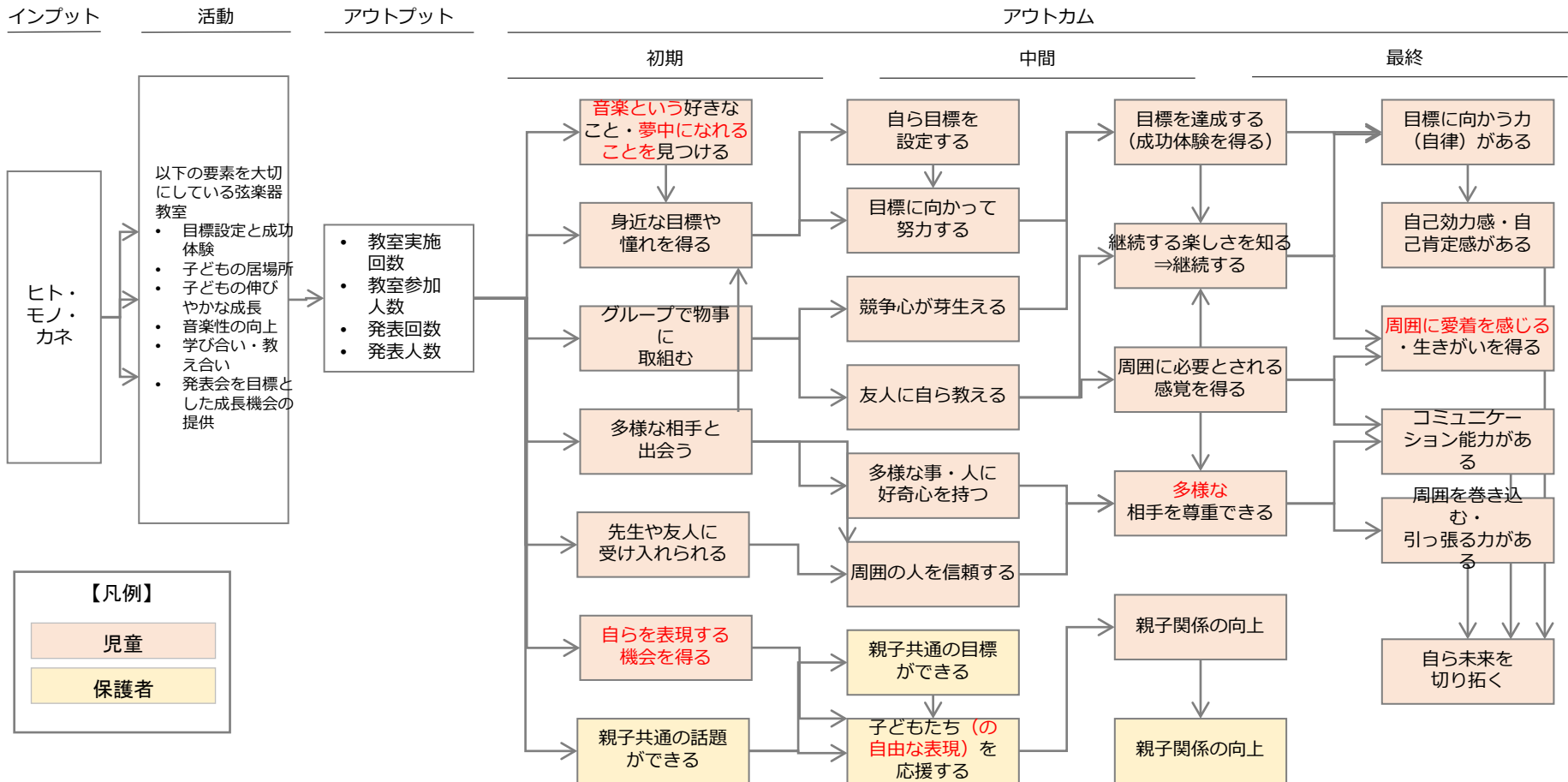


- 誰でも無償で参加可能
- 自己表現の追求を経験
- 美しさをともに味わい、聴く人に届ける
- 教え合い、学び合いを通して育む連帯感、チームワーク
- 異なる文化、広い世界とつながる
- 内発的動機付け、非認知能力の向上
- 子どもの居場所、包摂的交流
- 様々な経験を持つ指導ボランティア
- 子ども→親→地域社会を通したコミュニティーの再建、包摂的な社会づくり

2-2. 結果④～ロジックモデル(子どもオーケストラ・コーラス)の再整理～

- 2018年度版のロジックモデルは、2017年度版のアウトカムの言葉の一部を変更するのに加えて、「自らを表現する」というアウトカム項目を初期のアウトカムに加えることとした。

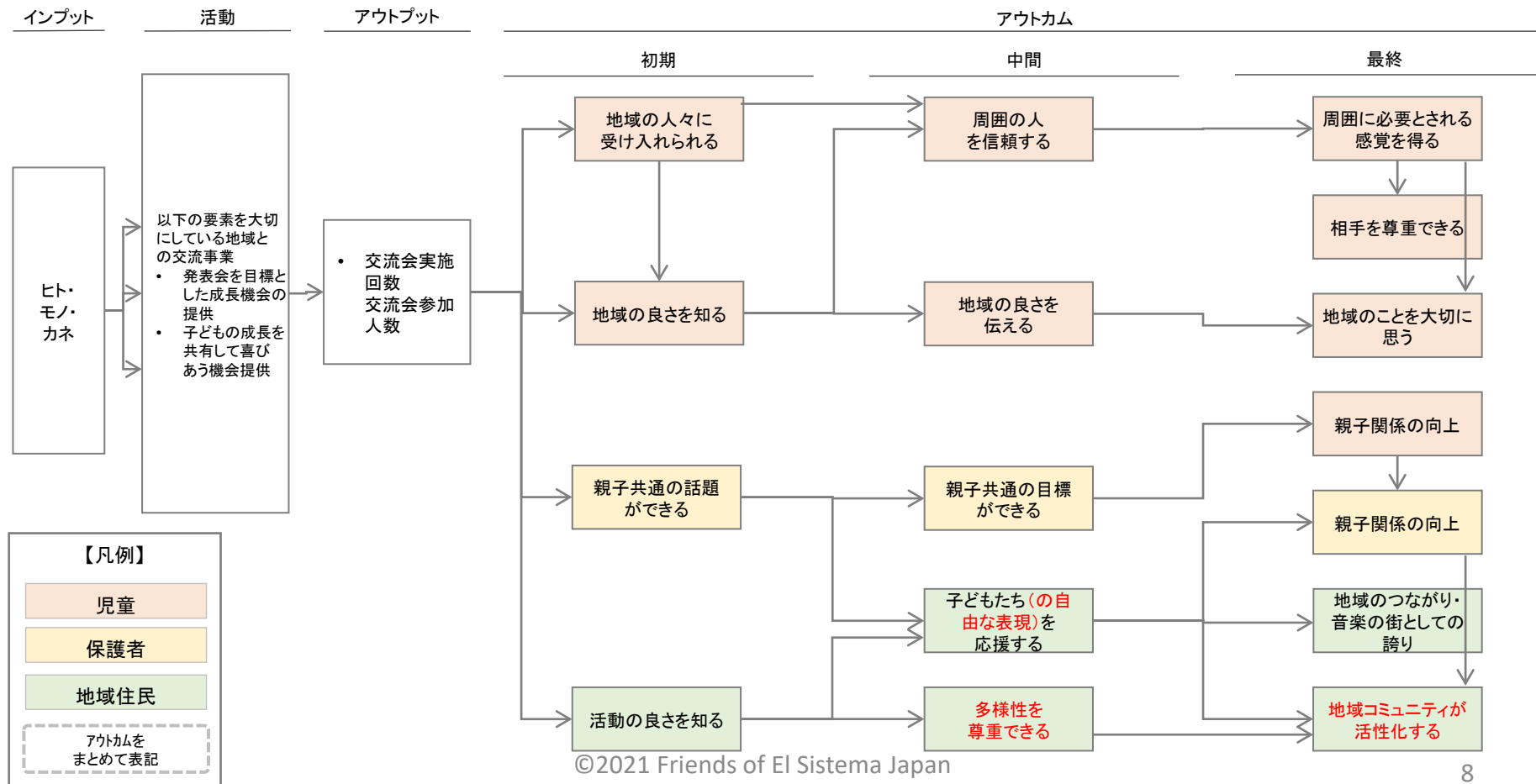
2018年度版ロジックモデル



2-2. 結果④～ロジックモデル(地域との交流事業)の再整理～

- 2018年度版のロジックモデルは、2017年度版のアウトカムの言葉の一部を変更するのに加えて、地域住民の「多様性の尊重」および「コミュニティ活性」というアウトカム項目を加えた。

2018年度版ロジックモデル

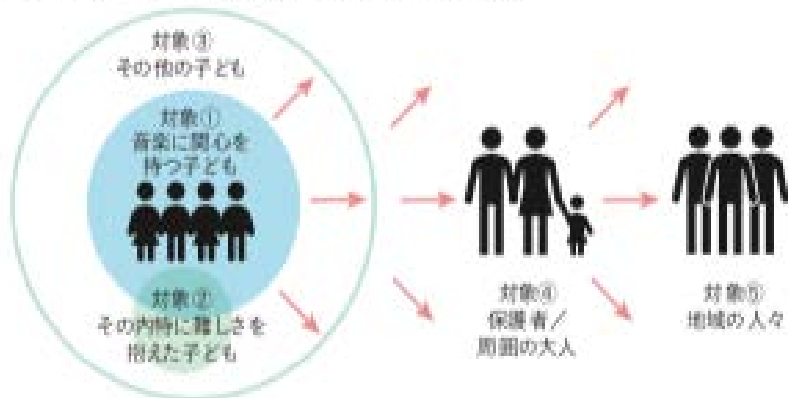


外部評価調査報告

- 慶應義塾大学SFC研究所
による3ヶ年調査

エル・シルテマ ジャパンの主な提供価値と対象

(対象: 音楽の機会提供が少ない地域/環境における人々)



(主な提供価値)

音楽機会の提供

子どもたちの成長

地域/環境の変革

	成果項目	結果
2018年度 成果	夢中になれることを見つける	4.6
	先生や友人に受け入れられる	4.3
	多様な相手と出会う	4.2
	グループで物事に取り組む	4.2
3ヶ年成 果(2016 結果 →2018結 果)	地域の良さを伝える	3.6→4.1
	夢中になれることを見つける	4.3→4.6
	先生や友人に受け入れられる	4.0→4.3

日本独自の課題に取り組む

- 地方の中の地方：芸術文化環境へのアクセスの偏在
- 部活動の将来：学校から地域単位へ
- 障害の有無にかかわらず、子どもから高齢者まで：音楽が可能にする共創の時間



芸術と社会：オーナーシップ (Ownership) と パートナーシップ (Partnership)

オーナーシップ：誰の現実を語っているのか？

- 当事者性
- 自己決定権
- 誇りと尊厳

パートナーシップ：双方向依存コミュニケーション？

- 共通の目的、インパクトのための協働
- 誰のため？
- 当事者が自己決定できるため？
- 持続可能性